基本目標３　家庭・学校・地域の教育力の向上

（１）子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

①豊かな心と健やかな体の育成

施策名		令和４年度	令和５年度	課題
1	子どもからの相談体制の充実 子育て応援課	【目標】 ・子どもから声掛けしやすい雰囲気の工夫 ・子ども へ子ども家庭支援センターの周知 【進捗状況】 ・職員・会計年度任用職員が、様々な研修に参加し、相談に必要な専門的知識を習得した。 ・保育園や学校に出向き、子どもと面談を行う際、緊急連絡先掲載の相談リーフレット等を配布。	【目標】 ・子どもが相談しやすい雰囲気の工夫 ・相談先の周知 【進捗状況】	時代の変化に伴い、相談内容も変遷することから研修参加を継続し、新たな知識の習得に努める必要あり 達成度 B
2	教育相談等の充実 教育指導課	【目標】 教育相談体制の充実 【進捗状況】 スクールカウンセラーを全校に配置しているほか、町の専任相談員を全小学校に週２回派遣、全中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒の抱える悩みや問題解決に向けた体制を整えた。	【目標】 教育相談体制の充実 【進捗状況】	専門性のある専任相談員を継続的に確保する必要あり 達成度 B
3	健康教育の推進 教育指導課・学校教育課	【目標】 発達段階に応じた保健指導や保健学習の充実 【進捗状況】 ・生涯にわたる心身の健康の保持増進を目指し、基本的な生活習慣を身に付け、健康的な生活を実践できる態度を育成した。 ・小学校３年生から保健の学習を行った。 ・身体計測時等に養護教諭が健康指導を行っている。	【目標】 発達段階に応じた保健指導や保健学習の充実 【進捗状況】	各種体力調査において、体力合計点を高める必要あり 達成度 B
住民との協働		ボランティア、関係団体との連携強化		

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（１）子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

①豊かな心と健やかな体の育成

	施策名	令和４年度	令和５年度	課題
4	中学生・高校生と乳幼児との交流促進 子育て応援課・教育指導課・社会教育課	【目標】 ・中・高・大学生の職場体験の積極的受入による交流 ・各種事業に学生の参加を依頼することにより交流を促す ・「読み聞かせ事業」をはじめとするジュニアリーダー養成講座の実施 ・職場体験の積極的な促進 【進捗状況】 ・中学生の職場体験時に乳幼児と関わる職場での体験を実施、促進した。 ・児童館では、職場体験や実習を受け入れる際、交流促進に努めた。（達成度Ｂ） ・ジュニアリーダー養成講座は読み聞かせ事業を実施した（子ども家庭支援センター・狭山保育園、図書館）。事前撮影による動画上映の方法を採用した。また、こどもフェスティバルの開会式やブース補助にも参加した。	【目標】 ・中・高・大学生の職場体験の積極的受入による交流 ・各種事業に学生の参加を依頼することにより交流を促す ・「読み聞かせ事業」をはじめとするジュニアリーダー養成講座の実施。可能な限り対面形式を計画する。また、宿泊研修に代わる日帰り研修も計画していく。 ・職場体験の積極的な促進 【進捗状況】	・瑞穂農芸高校との連携による事業の継続が重要 ・職場体験の受け入れ先を開拓する必要あり ・ジュニアリーダー養成講座は、小学5年生から18歳までが対象であり、中学生以上は部活動との両立等、参加が小学生に比べて少なくなる状況 ・新型コロナウイルス感染症を考慮した柔軟な実施が必要な状況 達成度 B
5	豊かな体験活動の推進 社会教育課・教育指導課	【目標】 ・学校での体験活動の充実 ・「子どもの集い」「子どもリーダー宿泊研修会」を実施 【進捗状況】 ・さくらまつり、産業祭で予定していた「子どもの集い」は中止となった。 ・「子どもリーダー宿泊研修会」は中止となったが、3月に「六道山謎解きラリー」を実施予定 ・学校では、６月にオーケストラによる音楽鑑賞教室を実施。伝統文化鑑賞教室を９月に実施。茶道教室を３学期に瑞穂中学校、瑞穂第二中学校でそれぞれ実施予定。	【目標】 ・学校での体験活動の充実 ・「子どもの集い」「子どもリーダー研修会（日帰り）」を実施。 【進捗状況】	・より多くの参加者を募るための方策の検討 ・伝統文化の内容と、ふるさと教育「みずほ学」の内容の関連を図る必要あり 達成度 B
6	人権教育の充実 教育指導課	【目標】 人権に対する正しい知識・理解を育む 【進捗状況】 学校教育活動全体を通し、人権の意味と課題を理解するとともに自他を大切にし、互いに認め合うことができる心情と態度の育成を図った。	【目標】 人権に対する正しい知識・理解を育む 【進捗状況】	人権に関する各種研修を引き続き充実させる必要がある。 達成度 B
	住民との協働			

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（１）子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

②学校教育の充実

	施策名	令和４年度	令和５年度	課題
1	学校運営連絡協議会の充実 教育指導課	【目標】 学校運営連絡協議会の充実 【進捗状況】 学校運営の改善に向けた取組への助言や支援を実施した。	【目標】 学校運営連絡協議会の充実 【進捗状況】	学校運営連絡協議会の進捗状況を確認することが課題 達成度 B
2	地域との連携 教育指導課	【目標】 ・学校活動を支援する仕組みづくりの推進 ・地域学校協働本部を設置し、地域と学校の連携・協働の推進 【進捗状況】 ・地域の人たちがボランティアや地域の特別講師として学校活動を支援した。 ・学校と地域を結ぶ地域学校協働本部を各学校に設置し、連携・調整役を担う地域コーディネーターを地域住民の方に委嘱した。 ・地域人材リストを活用した。	【目標】 ・学校活動を支援する仕組みづくりの推進 ・地域学校協働本部を設置し、地域と学校の連携・協働の推進 【進捗状況】	地域人材のリスト等の精度を上げる必要がある。また、地域学校協働本部の人材を広く確保する必要がある。 達成度 B
3	不登校児童・生徒への支援 教育指導課・子育て応援課	【目標】 不登校児童・生徒及び家庭への支援 【進捗状況】 ・適応指導教室や教育相談室、スクールカウンセラー、家庭と子どもの支援員、スクールソーシャルワーカーの活用による支援を実施した。 ・子ども家庭支援センターでは、不登校の要素を含む相談について、学校と連携を図り、家庭訪問等アウトリーチを実施した。	【目標】 不登校児童・生徒及び家庭への支援 【進捗状況】	不登校対策は、教育相談室の専任相談員やスクールソーシャルワーカーとの連携を図りながら進める必要あり 達成度 B
	住民との協働	・学校運営協議会は、地域住民が構成員 ・特別講師等、地域の方が学校活動を支援		

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（１）子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

③幼児教育の充実

施策名		令和４年度	令和５年度	課題
1	幼稚園・保育園等と小学校との相互連携と交流の促進 子育て応援課・教育指導課	【目標】 幼稚園・保育園と小学校との相互連携と交流の推進 【進捗状況】 ・地区内の交流活動を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら保育園・幼稚園からの要請に基づき複数回心理士を派遣し、保育士からの相談を受け就学相談に繋げる等の連携を実施した。 ・園からの要請に応じ、保護者へ向けた就学準備等の講座を実施した。 ・読み聞かせ推進事業の実施による情報交換の場は新型コロナウイルス感染拡大の影響により未実施	【目標】 幼稚園・保育園と小学校との相互連携と交流の推進 【進捗状況】	幼稚園・保育園、小学校の交流を定期的に行う等、更なる連携強化が必要 達成度 B
2	幼児教育振興補助事業の充実 子育て応援課	【目標】 保護者及び幼稚園協会への補助金の適正交付 【進捗状況】 ・幼稚園協会への補助金は交付済 ・保護者への補助金は、上半期分交付済	【目標】 保護者及び幼稚園協会への補助金の適正交付 【進捗状況】	補助金の継続支給 達成度 B
住民との協働				

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（１）子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

④思春期保健等の充実

施策名		令和４年度	令和５年度	課題	
1	思春期保健等の充実 教育指導課	【目標】 健康教育、保健指導の充実・強化 【進捗状況】 ・外部専門職による薬物乱用防止教室等を実施した。 ・全小・中学校で、外部専門職によるがん教育を実施した。	【目標】 健康教育、保健指導の充実・強化 【進捗状況】	がん教育については、指導内容を地域と連携して実施する必要あり	達成度 C
住民との協働					

（２）子どもの居場所づくり

①学校等を利用した居場所づくり

	施策名	令和４年度	令和５年度	課題
1	「瑞穂町総合型地域スポーツクラブ」の充実 社会教育課	【目標】 クラブ運営に必要な情報提供及び支援 【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業が全体的に中止となったが、一部の事業は実施した。施設の提供や情報提供及び支援も一部行った。	【目標】 クラブ運営に必要な情報提供及び支援 【進捗状況】	笑夢スポーツクラブの運営に情報提供及び支援を継続して行う必要あり 達成度 D
2	子ども読書活動の推進 図書館・子育て応援課	【目標】 ・学校図書室と連携した読書活動及び学習の活性化 ・親子を対象とした読み聞かせ事業の継続 【進捗状況】 ・学校図書館司書との情報連絡会を実施予定です。 ・図書館と各地域図書室で読書手帳や本の思い出を配布している。 ・おはなしの会は82回実施した。保健センターで実施予定の乳幼児を対象にした読み聞かせは、1回実施した。（1月31日現在） ・子ども家庭支援センターでの読み聞かせ事業「おはなしはじまるよ」を、令和5年1月末現在9回実施した	【目標】 ・学校図書室と連携した読書活動及び学習の活性化 ・親子を対象とした読み聞かせ事業の継続 【進捗状況】	・学校図書館司書と連携し、子どもの主体的、意欲的な読書活動や学習活動を継続的に支援する必要がある。 ・子ども家庭支援センターで実施している読み聞かせ事業の更なる周知 ・新型コロナ対策を講じながら事業を実施していく必要がある。 達成度 B
3	郷土資料館の活用 図書館	【目標】 ふるさとの魅力を伝えるため、各種事業を実施 【進捗状況】 ・親子で参加できる体験教室や工作教室等を実施した。 ・子供も楽しめる、自然に関する展示や特別展を実施した。 ・夏休み期間中にはキッズスペースを設置した。 ・みずほまるの着ぐるみを活用したイベントなどを実施した。	【目標】 ふるさとの魅力を伝えるため、各種事業を実施 【進捗状況】	子供向けの事業や施設の開放、また、各学校や各種団体、隣接する耕心館等と連携し、事業を充実させるとともに、新型コロナ対策を講じながら事業を実施していく必要がある。 達成度 B
	公園等の整備 建設課	【目標】 狭山池公園、松原中央公園にスプリング遊具（みずほまる）設置 【進捗状況】 狭山池公園、松原中央公園にスプリング遊具（みずほまる）を各1基ずつ設置した。	【目標】 狭山谷公園、さくら公園にスプリング遊具（みずほまる）設置 【進捗状況】	自由な発想で創造性ある遊びができる公園を追及、検討する必要あり 達成度 B
	住民との協働	町内会及び公園ボランティアとの連携強化		

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（２）子どもの居場所づくり

②児童館の充実

施策名		令和４年度	令和５年度	課題
1	児童館運営の充実 子育て応援課	【目標】 移動児童館事業の更なる充実 【進捗状況】 ・町内小中学校長期休業期間中、期間限定移動児童館を、各コミュニティセンターで138回実施予定 ・各コミュニティセンターで、幼児移動児童館を77回、就学児向け移動児童館を45回実施予定	【目標】 移動児童館事業の更なる充実 【進捗状況】	・各コミュニティセンターで実施する事業について、定期開催の回数を増やす等で、日常的な居場所づくりとすることが必要 ・児童館から遠い地域の大人にも児童館の存在をPRすることが必要 達成度 B
2	中学生・高校生への支援 子育て応援課	【目標】 勉強や待ち合わせの場所等多面的に利用できる旨周知 【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、各部屋で少人数で過ごせるよう机やマットなどを配置した。学校や塾の宿題を行う児童が見られた。	【目標】 勉強や待ち合わせの場所等多面的に利用できる旨周知 【進捗状況】	・小学校高学年から高校生までの児童への児童館の魅力発信の必要あり ・開館時間の延長等検討する必要あり 達成度 B
住民との協働				

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（２）子どもの居場所づくり

③放課後児童対策の充実

	施策名	令和４年度	令和５年度	課題
1	放課後子ども総合プランの推進 社会教育課・子育て応援課	【目標】 プランの継続的な推進 【進捗状況】 放課後子ども教室は一学期より実施。「科学であそぼう」は三小と五小で実施。放課後子ども総合プランに該当する学童保育クラブとの連携事業等は実施できなかった。	【目標】 プランの継続的な推進 【進捗状況】	関係各課の連携と体系の構築の必要あり 達成度 D
2	「放課後子ども教室」の充実 社会教育課	【目標】 現場指導員・地域との連携により、内容の充実を重視し教室を開催 【進捗状況】 【一学期実績】 一小：6回、二小：6回、三小：14回、四小：13回、五小：9回 【二学期実績】 一小：14回、二小：17回、三小：29回、四小：16回、五小：49回 【三学期実績】（1月現在） 一小：2回、二小：1回、三小：7回、四小：1回、五小：5回	【目標】 現場指導員・地域との連携により、内容の充実を重視し教室を開催 【進捗状況】	協力いただけるスタッフの確保 達成度 B
3	学童保育クラブの充実 子育て応援課	【目標】 待機児童対策として、期間限定保育（夏季限定保育）の定着 【進捗状況】 ・待機児童対策として、夏季限定保育実施、入所41人、４月の待機児童0人	【目標】 待機児童対策として、期間限定保育（夏季限定保育）の定着 【進捗状況】	夏季限定保育の活用、その他調整により年度当初から待機児童を出さない運用が課題 達成度 B
	住民との協働	「放課後子ども教室」を実施するためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠、特に地域人材を活用して、様々な体験学習を提供		

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（３）地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり

①地域との連携と人材活用

	施策名	令和４年度	令和５年度	課題
1	地域における人材の育成・活用 社会教育課	【目標】 総合人材リストのＰＲ、活用の活性化 【進捗状況】 人材リストの登録は「パソコン指導」で1件あった。活用の実績はなかった。	【目標】 総合人材リストのＰＲ、活用の活性化。協働推進課との連携。 【進捗状況】	広報・ＨＰ・他施設への資料設置等の周知方法の模索。活用の活性化 達成度 D
2	家庭教育の充実 社会教育課	【目標】 社会教育事業の中での家庭教育支援の推進 【進捗状況】 読み聞かせ事業は上半期2か所（子ども家庭支援センターひばり、狭山保育園）、11月に図書館で実施した。 「わくわくしゃべりば」はオンラインで10回（毎月1回）実施した。	【目標】 社会教育事業の中での家庭教育支援の推進 【進捗状況】	住民提案型協働事業の推進による家庭教育の充実につなげる。 達成度 B
3	ジュニアリーダーの養成 社会教育課	【目標】 実施内容の充実 【進捗状況】 読み聞かせ事業は上半期2か所（子ども家庭支援センターひばり、狭山保育園）、11月に図書館で実施。「子どもの集い」は中止だが、こどもフェスティバルに参加 「子どもリーダー宿泊研修会」も中止となったが、3月に代替事業を予定	【目標】 実施内容の工夫、充実 【進捗状況】	中学生以上の参加が小学生に比べて少なくなる傾向であり、実施内容や回数の精査等、参加者が参加しやすくなるよう工夫 達成度 C
	住民との協働	住民提案型協働事業の実施、教育委員会の支援内容は、会場の確保、広報紙への掲載、講師紹介等		

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（３）地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり

②世代間交流による子育て支援

施策名		令和４年度	令和５年度	課題
1	世代間交流・地域連携の推進 社会教育課・協働推進課・子育て応援課・関係各課	【目標】 ・町内会・自治会等が行う事業を支援する。 ・こどもフェスティバル実施 ・子ども会連合会・地区青少年協議会への支援 【進捗状況】 ・こどもフェスティバルは10月16日（日）実施。 ・こども会連合会の活動は「工作教室」を8月に、「モルック体験を11月に実施。 ・地区青少年協議会とは会長会議及びパトロール活動で情報共有している。 ・各地域で実施されている世代間交流事業や地域子育て支援事業に対し、地域づくり補助金を交付することにより、町内会・自治会等を側面から支援した。 ・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を一緒に食べる活動を支援した。令和４年度は瑞穂第一小学校と第四小学校で実施した。2校とも家庭科室を使用し、4月から11月の参加者は、瑞穂第一小学校が102人、瑞穂第四小学校は82人だった。12月は新型コロナウイルス拡大防止のため、中止になった。	【目標】 ・町内会・自治会等に対し、地域づくり補助金等により側面からの支援を行う。 ・こどもフェスティバルへの参加 ・子ども会連合会・地区青少年協議会への支援 ・第一小学校と第四小学校で開催している「おひさまキッチン」を側面から支援し、順調に開催する。また、地域の拡大を目指す。 【進捗状況】	・こどもフェスティバル実行委員会への若者の参加促進 ・子ども会は、少子化及び保護者負担増による加入者の減少 ・地区青少年協議会への支援方法の研究 ・町内会・自治会加入率の低下、コロナ禍での各種事業等の自粛によるコミュニティ活動の停滞等に対する対応策の検討 達成度 B
2	地域で子どもを育てる環境づくりの推進 社会教育課	【目標】 ・子育てサークル活動支援 ・子ども会連合会の活動支援 【進捗状況】 ・子育て支援を住民提案型協働事業（伝統文化いけ花教室【2事業】）を通して実施中。 ・こども会連合会の活動は、「工作教室」を8月に、「モルック体験」を11月に実施 ・子育てサークル支援事業としては、「わくわくしゃべりば」がオンラインで10回実施。「わんぱくクラブ」は10月に実施。2月に1回実施予定	【目標】 ・子育てサークル活動支援 ・子ども会連合会の活動支援 【進捗状況】	・子育てサークルの活動を支援するとともに、子ども家庭支援センターとの共催事業等の連携の検討が必要 ・子ども会連合会活動を支援するとともに、子ども会の少子化及び保護者負担増による加入者の減少 達成度 B
住民との協働		こどもフェスティバルは、参加団体の代表者が集まり実行委員を決め、実行委員会を開催し、実行委員会の主導で当日に向け準備を進めた。子ども会とは、子ども会連合会と連携を図り、合同で子ども会行事を実施する等、役員の負担軽減を図り加入につながるような方策を取っている。また、行事の一つとしてこどもフェスティバルに参加している。地区青少年協議会では、独自で地域のイベントを開催している。住民提案型協働事業で、子育てサークルとの協働事業を実施している。		

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施

（３）地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり

②世代間交流による子育て支援

施策名		令和４年度	令和５年度	課題
3	多世代間交流事業の支援 協働推進課・福祉課・子育て応援課・関係各課	【目標】 ・町内会・自治会等が行う事業を支援する。 ・第一小学校と第四小学校で開催している「おひさまキッチン」を側面から支援し、順調に開催する。 【進捗状況】 ・新型コロナウイルスの対策をして、第一小学校は5回、第四小学校は6回開催することができた。 ・多世代間交流事業の代表的なものに「こどもフェスティバル」があるが、本年度は新型コロナウイルスの対策をして、開催することができた。 ・各地域で実施されている世代間交流事業や地域子育て支援事業に対し、地域づくり補助金を交付することにより、町内会・自治会等を側面から支援した。 ・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を一緒に食べる活動を支援した。令和４年度は瑞穂第一小学校と第四小学校で実施した。2校とも家庭科室を使用し、4月から11月の参加者は、瑞穂第一小学校が102人、瑞穂第四小学校は82人だった。12月は新型コロナウイルス拡大防止のため、中止になった。	【目標】 ・町内会・自治会等に対し、地域づくり補助金等により側面からの支援を行う。 ・第一小学校と第四小学校で開催している「おひさまキッチン」を側面から支援し、順調に開催する。また、地域の拡大を目指す。 【進捗状況】	関係団体との様々な事柄の調整。また、コロナウイルス感染症予防の策を講じること。 ・町内会・自治会加入率の低下、コロナ禍での各種事業等の自粛によるコミュニティ活動の停滞等に対する対応策の検討 達成度 C
住民との協働		ボランティア、関係団体との連携強化		

【達成度】A：目標を達成　B：おおむね目標を達成　C：若干目標には達せず　D：大幅に目標に達せず　E：検討中及び未実施